

～ものづくり先端技術が支える認知症のひとと地域の共生～

認知症サミット in Mie

International congress of dementia summit in Mie

会期：2016年10月14日(金)～10月15日(土)

会場：四日市市文化会館、四日市都ホテル、鈴鹿サーキット

謹啓 時下益々ご盛栄のこととお慶び申し上げます。

この度、ポストサミット関連事業として、2016年10月14日(金)～10月15日(土)、先端技術が支える認知症のひとと地域の共生をテーマに「認知症サミット in Mie」を四日市文化会館、都ホテル、鈴鹿サーキットにおいて開催させて頂くこととなりました。

認知症のひとが住み慣れた地域で長く生活を続けるためには、認知症のひとが生活に必要な補助手段やセーフティーネットを社会に構築する必要があります。三重県は東海地方の一翼として、ITやロボットなどものづくり技術の集積があり、優れた先端技術を認知症のひとに援用することを可能とする行政や民間の知の集積があります。本ワークショップでは、わが国に集積するブレンマシーン・インターフェイス (BMI) を応用した介護ロボット技術やICTによる生活支援技術を、地域や医療・介護の現場に安全に導入するための仕組みづくりおよび人材育成をテーマとします。これらの情報を国内で共有してパール宣言として総括し、今後、高齢化による認知症の急激な増加が予想されているアジア諸国に向けて情報を発信していきたいと願っています。

謹白

2016年4月吉日

認知症サミット in Mie

実行委員会・委員長 富本 秀和

(三重大学大学院医学系研究科神経病態内科学)

開催概要

主催：認知症サミット in Mie 実行委員会

共催：国立大学法人 三重大学

一般社団法人 日本認知症学会

国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター

後援：厚生労働省 (予定)

三重県

公益社団法人 認知症の人と家族の会

四日市市 鈴鹿市 三重県医師会

対象：認知症や高齢者医療・福祉の従業者および一般

実行委員会

委員長

冨本秀和 国立大学法人三重大学 医学研究科神経病態内科学・教授

委員

西村訓弘 国立大学法人三重大学副学長／地域イノベーション学科教授

秋山治彦 一般社団法人日本認知症学会・理事長

鳥羽研二 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター・理事長

高見国生 公益社団法人認知症の人と家族の会・代表理事

豊田長康 学校法人鈴鹿医療科学大学・学長

青木重孝 公益社団法人三重県医師会・会長

本間 昭 一般社団法人日本認知症ケア学会・理事長

東憲太郎 公益社団法人全国老人保健施設協会・会長

(1) プログラム

※講演・ワークショップにおいて海外演者調整中。

1日目：2016年10月14日(金)

会場：四日市市文化会館

時間	内容
14:00-14:40	ご挨拶 1. 鈴木英敬 三重県知事 2. 厚生労働省 3. 三重大学・学長 4. 三重県医師会・会長
14:40-15:10	秋山治彦 日本認知症学会・理事長
15:10-15:40	鳥羽研二 国立長寿医療研究センター・理事長
15:40-16:10	富本秀和 三重大学大学院医学研究科神経病態内学・教授
16:10-16:40	森 啓 AMED プレクリニカル臨床研究・主任研究者
16:40-17:10	本間 昭 日本認知症ケア学会・理事長
17:10-17:40	海外演者

2日目：2016年10月15日(土)

会場1：四日市都ホテル

9:00-11:50	国際ワークショップ (WS1-5) WS1: 認知症の国際連携 Pai MC (Cheng Kung 大学), Ki Woong Kim (Seoul 大学) Krishnamoorthy E (Voluntary Health Services), その他 WS2: 認知症のひとへの地域支援の構築 WS3: 認知症の医療産業連携 WS4: 認知症の医療システム WS5: 認知症の介護システム
12:00-13:00	ランチョンセミナー
13:15-14:45	座長報告 (WS1-5) サミット宣言とりまとめ
15:00-16:00	サミット宣言、記者発表
16:00-16:10	閉会の辞 三重大学副学長 西村訓宏

会場2：鈴鹿サーキット

介護ロボット及び自動運転の自動車、その他の認知症に関連する治療・介護器具、機材を展示予定。

(2) 参加者数 (予定) 国内外 約 1,000 名

WS1：認知症の国際連携

先端技術が拓く認知症のひとの暮らしと未来；アジアとの共生を目指して

- 池田 学（大阪大学大学院医学系研究科精神医学・教授）
地域で支える認知症ケア；わが国の実情
- 櫻井 孝（国立長寿医療研究センター・もの忘れセンター長）
わが国の認知症の実情把握；オレンジレジストリ
- 賈 建平 Jia, Jianping（首都医科大学附属宣武医院神経内科・教授）
Department of Neurology, Xuan Wu Hospital of the Capital Medical University
中国の認知症の現状
- Ki Woong Kim（国立ソウル大学盆唐病院精神神経科・教授/国立中央認知症センター・センター長）
Department of Neuropsychiatry, Seoul National University Bundang Hospital
韓国の認知症の現状
- Ming-Chyi Pai（国立成功大学・神経内科・教授）
Department of Neurology, National Cheng Kung University (NCKU)
台湾の認知症の現状
- Ennapadam Krishnamoorthy（神経科学研究所 精神科・教授）
The Institute of Neurological Sciences
インドの認知症の現状

WS2：認知症のひとへの地域支援の構築

認知症のひとと家族に対する地域支援

- 高見国生（認知症の人と家族の会・代表理事）
国際アルツハイマー病協会（ADI）からの報告
- 伊藤美知（三重県若年性認知症コーディネーター）
若年性認知症のひとのための作業所の事業展開
- 大谷るみ子（大牟田市認知症ライフサポート研究会・代表）
安心して徘徊できる街づくり
- 西村美紀子（玉城町地域包括支援センター・センター長）
オンデマンドバスによる地域支援
- 丹野智文（アルツハイマー病患者）
若年性アルツハイマー型認知症患者の視点からの提言

WS3：認知症の医療・産業連携

超高齢社会を支えるも ICT、ものづくり先端技術

- 西村訓弘（三重大学副学長・地域イノベーション学科・教授）
みえライフイノベーション推進センター（MieLIP）における経験知の集積
- 近藤和泉（国立長寿医療研究センター・健康長寿支援ロボットセンター長）
ロボット技術を用いたリハビリ
- 鈴木宏治（鈴鹿医療科学大学社会連携研究センター長）
鈴鹿ロボケアセンターの取り組み
- 中西有美子（群馬県介護支援専門員協会・高崎安中支部長）
GPSを応用した「はいかい高齢者救援システム」
- 熊田 均（日本弁護士連合会・高齢者・障害者の権利に関する委員会委員長/弁護士）
認知症患者の尊厳と権利擁護

WS4：認知症の医療システム

認知症のひとと家族の生活を支える医療システム

- 栗田主一（東京都健康長寿医療センター研究所・研究部長）
認知症疾患医療センターの現状と課題
- 富本秀和（三重大学大学院医学系研究科神経病態内科学・教授）
多職種連携による認知症診療
- 東憲太郎（全国老人保健施設協会・会長）
認知症の病診連携
- 武田章敬（国立長寿医療研究センター・在宅医療地域連携診療部長）
介護保険制度と認知症サポーターと初期集中支援チーム

WS5：認知症の介護システム

ものづくり先端技術を認知症のひとの生活に応用するためのシステムと人材育成

- 佐藤正之（三重大学医学部附属病院認知症センター・准教授）
認知症の非薬物療法
- 脇田英明（藤田保健衛生大学七栗記念病院内科・教授）
認知症患者の運転行動の特徴と中止指導について
- 西元幸雄（社会福祉法人青山里会・常務理事，認知症ケア学会理事）
認知症ケア専門職の育成
- 六角僚子（特定非営利活動法人認知症ケア研究所・代表理事）
看護スタッフへの認知症教育

(別添)

1. 中国

賈 建平 (Jia Jianping)

首都医科大学附属宣武医院神経内科 教授

Department of Neurology, Xuan Wu Hospital of the Capital Medical University

中華医学会神経病学会の前主任委員 (分会長)、「認知症及び認知障害グループ」グループ長を務められていました。2011 年に日中友好協会が開いた日中医学会議で「中国の農村・都市人口の MCI と認知症罹患率の研究」のご講演をされています。

2. 韓国

Ki Woong Kim

国立ソウル大学盆唐病院精神神経科 教授・国立中央認知症センター・センター長

Department of Neuropsychiatry, Seoul National University Bundang Hospital

3. 台湾

Ming-Chyi Pai

國立成功大學神経内科 神経内科教授

Department of Neurology, National Cheng Kung University (NCKU)

アジア認知症学会 (ASAD) 理事、台湾認知症学会理事長

4. インド

Ennapadam Krishnamoorthy

神経科学研究所 精神科教授

The Institute of Neurological Sciences,

アジア認知症学会 (ASAD) 理事、国際精神神経学会理事長

アジアにおける認知症介護の哲学といった大きな視点の講演をされます。

